

感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の新規変異株

参考資料 3

株	感染性	重篤度	再感染（抗原性）	ワクチンへの感受性	流行状況
VOC -202012/01	<ul style="list-style-type: none"> 感染・伝播性増加が懸念される変異を有する モデリング上、伝播性が5～7割増加の推定結果がある 2次感染率の25-40%増加を示唆する解析結果がある 	<ul style="list-style-type: none"> 入院および死亡リスクの上昇と関連している可能性が高い (likely^{*1}) <p><small>*1: 55~75%の確からしさを示す表記</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> 野生株との交叉中和能あり 再感染率について野生株との有意差なしの暫定結果 英国で中和抗体からの逃避変異とされる E484K 変異も有する株が見つかった（これの示唆する影響については 501Y.V2/501Y.V3 参照） 	<ul style="list-style-type: none"> Moderna 社ワクチン接種後血清で、中和可能。 Pfizer 社製ワクチンや AstraZeneca 社製ワクチンでワクチン接種後血清で、中和能が2-3倍程度低下^{*3}。 AstraZeneca 社、Novavax 社のワクチンの本変異株に対する暫定的な有効性はそれぞれ 74.6%、86% <p><small>*2 実験・抗体検査を目的に人工的に作られる、別のウイルス粒子の表面に SARS-CoV-2 のスパイクタンパクを発現させたウイルス</small></p> <p><small>*3 一般的に in vitro（試験管内）での評価結果は in vivo（生体内）で起こる現象を正確に反映しないこともあり、本結果の解釈に注意が必要。</small></p>	<p>2/28 時点で 106 カ国で検出^{*4}</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ感染(42) 輸入・散発(29) 評価中(35) <p><small>*4 WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update, 28, February 2021, 10am CET</small></p>
501Y.V2	<ul style="list-style-type: none"> 感染・伝播性増加が懸念される変異を有する モデリング上、2次感染率が50%程度増加の推定結果がある 	<ul style="list-style-type: none"> より重篤な症状を引き起こす可能性を示唆する証拠なし 	<ul style="list-style-type: none"> 中和抗体からの逃避変異とされる E484K 変異を有する 中和抗体からの逃避を示唆する実験結果あり モデリング上、感染性増加がないと仮定すると、過去の感染による免疫から21%逃避していると推定されている 	<ul style="list-style-type: none"> シュードタイプウイルス^{*2}使用実験で、Pfizer 社や Moderna 社ワクチンで誘導される中和抗体に若干中和されにくいことが示唆される報告がある Novavax 社、Johnson & Johnson/Janssen 社のワクチンの本変異株に対する暫定的な有効性はそれぞれ 49.4%、57%と低下が懸念され、AstraZeneca 社のワクチンは本変異株に有効性を示さなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アフリカ共和国で8月下旬に発生、11月以降にゲノム解析された検体の90%以上が501Y.V2だった。 <p>2/28 時点で 56 カ国で検出^{*4}</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ感染(8) 輸入・散発(6) 評価中(42)
501Y.V3	<ul style="list-style-type: none"> 感染・伝播性増加が懸念される変異を有する 非 501Y.V3 株に比べて1.4倍から2.2倍伝播しやすいという解析結果がある。 	<ul style="list-style-type: none"> より重篤な症状を引き起こす可能性を示唆する証拠なし 	<ul style="list-style-type: none"> 中和抗体からの逃避変異とされる E484K 変異を有する 非 501Y.V3 株に比べて既感染による免疫を25-61%回避可能という解析結果がある。 他株への既感染者の再感染事例の報告あり 	<ul style="list-style-type: none"> 関連する研究報告なし 	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル・アマゾナス州では1月で91% (31/35) から検出の報告。 <p>2/28 時点で 29 カ国で検出^{*4}</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ感染(3) 輸入・散発(17) 評価中(9)